

米国食肉輸出連合会  
〒107-0052  
東京都港区赤坂 1-6-19  
KY 溜池ビル 5F  
TEL 03-3584-3911  
FAX 03-3587-0078



U.S. Meat Export Federation  
5<sup>th</sup> Floor, KY Tameike Bldg.  
6-19 Akasaka 1-chome  
Minato-ku, Tokyo 107-0052  
TEL +81-3-3584-3911  
FAX +81-03-3587-0078

*Putting U.S. Meat On the World's Table Since 1976*

---

2012年4月25日

関係各位

## 米国で発生した4例目の非定型 BSE の件に関して

米国農務省(USDA) 動植物衛生検査部(APHIS)は、24日(日本時間25日未明) サーベイランスシステムの下、カリフォルニア州中部において、米国で4例目となる孤発性(非定型)牛海綿状脳症(BSE)の乳用牛の確認を発表しました。この乳用牛(30ヶ月齢超の高齢牛)はカリフォルニア州当局の管理のもとに州内のレンダリング施設にて処理されており、食用として流通することはありません。

アイオワ州エイムズにある米国農務省の国立動物検疫研究所(NVSL)にて、問題となっている乳用牛のサンプルが検査されました。免疫組織化学およびウェスタン・ブロット検査の結果、当該乳用牛は非定型 BSE と判定されました。つまり、今回の非定型 BSE は突発的に発生したもので、汚染された飼料からの感染ではなく、脳組織が自ら異変をきたした結果、発生したものとされています。したがって人や他の動物への感染はないとされています。

また、カナダと英国にある国際獣疫事務局(OIE)に関連する検査所でも、当該牛のサンプルが検査されており、今回の米国による検査結果を確認する予定です。

藤村修官房長官は25日午前の記者会見で、米国で牛海綿状脳症(BSE)感染牛が発見されたことに関し、「輸入段階で特段の措置は必要ないと考えている」とも述べており、今回の検出は国際獣疫事務局(OIE)によって定められている米国の BSE ステータスや日米の牛肉貿易に影響するものではないと考えています。

今後、新たな情報が入り次第お知らせしてまいります。